

2009年2月20日

各位

オリックス自動車株式会社

## 「第17回 おきなわマラソン」にレンタカー車両を提供 ～環境に配慮し、伴走用車両の燃料にバイオエタノール混合ガソリンを使用～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）は、2月22日に沖縄県内で開催される「第17回 おきなわマラソン」の運営用車両として、レンタカー車両10台を提供します。提供車両のうち、伴走用として使用する3台の車両の燃料にアサヒビール株式会社が伊江島でサトウキビから生産した「バイオエタノール混合ガソリン(E3)」(\*)を使用することで環境負荷低減に貢献します。

オリックス自動車は、自動車リース事業において「環境に配慮した車両管理の提案」やテレマティクスを活用した「エコドライブの推進」、「車両台数の最適化」など様々な環境支援サービスを提供してきました。

レンタカー事業では、2008年9月1日から2ヶ月間、沖縄エリアにおいて「ヤンバルクイナ保護募金プラン」キャンペーンを実施し、国の天然記念物ヤンバルクイナの保護活動を支援しました。また、2009年7月初旬までにはハイブリッド車両を全国で700台に増やします。（2008年12月末日現在、ハイブリッド車両300台保有）

環境に配慮した新しいクルマの利用手段であるカーシェアリング事業では、2008年7月よりカーボンオフセットを導入、2009年2月には東京都との連携により公共交通と連携したモデル事業を実施するなど、環境負荷低減を推進しています。

今後もお客様に合理的なクルマの利用方法を提供するとともに、さらなる環境負荷低減に繋がる活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

以上

(\*) アサヒビールでは2002年より九州沖縄農業研究センターと「食糧競合しないバイオエタノール生産技術」の共同研究をしています。本バイオエタノールは、沖縄県伊江村バイオマスタウン構想の一環として、アサヒビールと農研機構・九州沖縄農業研究センターが共同で実証実験を行っている砂糖・エタノール製造パイロットプラントにおいて製造されたものです。

<本件に対するお問い合わせ先>  
オリックス自動車株式会社 社長室：矢崎  
TEL：03-6436-6030